

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス あんSchoolステップ			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 5日		～	2025年 12月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	2025年 12月 5日		～	2025年 12月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広く多機能な空間を活用した環境整備	当事業所は広めの構造を活かし、子どもたちがゆったりと過ごせる空間づくりを意識しています。 カフェスペースや、eスポーツ専用の部屋など、多様なニーズに対応できる設備を整備しています	子どもたちがより安全に過ごせるよう、壁面や角部分への安全クッション材（安全シート等）の設置を進めています。 今後も事故やケガのリスクを減らすために、定期的な点検や環境改善を継続していきます。
2	年齢や特性に応じた支援とイベントの充実	当事業所では、子どもの年齢や発達段階に応じて、興味関心を引き出せるよう豊富な遊具を用意しています。また、季節行事や創作活動、外出体験など子どもたちが楽しみながら成長できる多彩なイベントを計画・実施しています。	子どもたちの意見や希望を取り入れたリクエスト活動を継続し、より主体的に過ごせる環境づくりを目指しています。 また、職員間での支援のばらつきを減らし、共通理解のもとで統一された支援が行えるよう、定期的な話し合いや研修を通じて連携を強化しています。
3	日常的な保護者との連携とニーズに基づく支援の共有	保護者と定期的に連絡を取り合い、日々の様子や課題について共有しています。 また、モニタリング会議等の機会を通じて支援の方向性や課題を確認し、今後の支援計画に活かすなど、連携体制を大切にしています。	保護者と子どもと一緒に参加できる親子活動などを通じて、交流の場や連携の機会を増やしていく予定です。 また、家庭での様子や要望をもとに支援内容を共有し、保護者ととともに一貫性のある支援を行っていける体制づくりを進めています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者との交流や情報共有を目的とした父母の会や保護者会などの行事を企画しましたが、十分な参加が得られませんでした。	親子参加型のイベントを企画したが、参加人数が少なく、関心が十分に得られなかったです。 保護者のスケジュールや家庭の事情により、参加が難しい場合があると考えられます。	事前のアンケートで希望内容や都合を把握し、保護者ニーズに沿った形で企画内容を調整していく必要があります。
2	災害時等の対応について、保護者へ周知する仕組みや機会を事業所側が十分に設けていませんでした。	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等は、整備されていますが、その内容について保護者への周知・説明が十分ではありませんでした。	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染対策マニュアル等を保護者へ周知・説明する体制を整えます。 また、避難訓練の様子を写真付きで報告したり、緊急連絡手段の確認を定期的に行うなど、災害対応への安心感を高める工夫をしていきます。
3	放課後児童クラブや地域の子どもたち（障害のない子を含む）との交流を目的とした活動の計画がこれまでありませんでした。	活動等を通じて外出の機会は設けていましたが、放課後児童クラブや障害のない子どもとの交流を目的とした計画自体がこれまでなかったため、異年齢・異環境との接点が限られていました。	今後は市の児童館や地域のイベントなどに積極的に参加し、障害の有無にかかわらず子ども同士が自然に交流できる機会を増やしていきたいです。 また、地域の関係機関との連携体制を築き、外部との接点を持つ活動を計画的に進める必要があります。